

出雲市長からの激励メッセージ（要旨）

国民平和大行進にご参加の皆様、本日は大変暑い中、お疲れ様でございます。

核兵器の廃絶を訴え、平和な社会の実現をめざす皆様の取り組み、ご尽力に心から敬意を表します。

本年は広島、長崎の被爆から71年目、あわせて戦後71年目にあたり、戦争を知らない世代が増加していく中で、世界で唯一の被爆国として、日本が国際社会の先頭に立ち、核兵器の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝え、訴え続けていくことが必要であります。

平和大行進は、5月6日の東京・広島コースのスタートを皮切りに、全国8コースで開始されました。その中で、6月9日には、富山県を出発した日本海行進コースが、現在は、ここ出雲市に至り、最後は広島平和公園での終結とうかがっております。

皆様の行動が、草の根レベルで市民一人一人の心に響き、核兵器の廃絶、平和への願いが日本国内はもとより全世界に届き、真の平和が訪れることを強く願っております。

出雲市におきましては、平成18年3月17日、議会におきまして、非核平和都市宣言に関する決議・非核自治体宣言でございます、これを行い、また、平和市長会議にも加盟をいたしました。広島市、長崎市に原爆が投下された8月6日、そして、9日には、庁舎内での黙祷をはじめ、広く市民にも黙祷を呼びかけるなど、核兵器廃絶と平和な社会の実現に向けて取り組んでおります。

結びになりますが、参加された皆様におかれましては、体調には十分に留意をされ、平和行進の目的を無事達成されることを祈念するとともに、皆様のご活躍とご健勝をお祈りし、激励の言葉と致します。

平成28年7月26日

出雲市長 長岡秀人